

幕張新都心まちづくり将来構想 原案

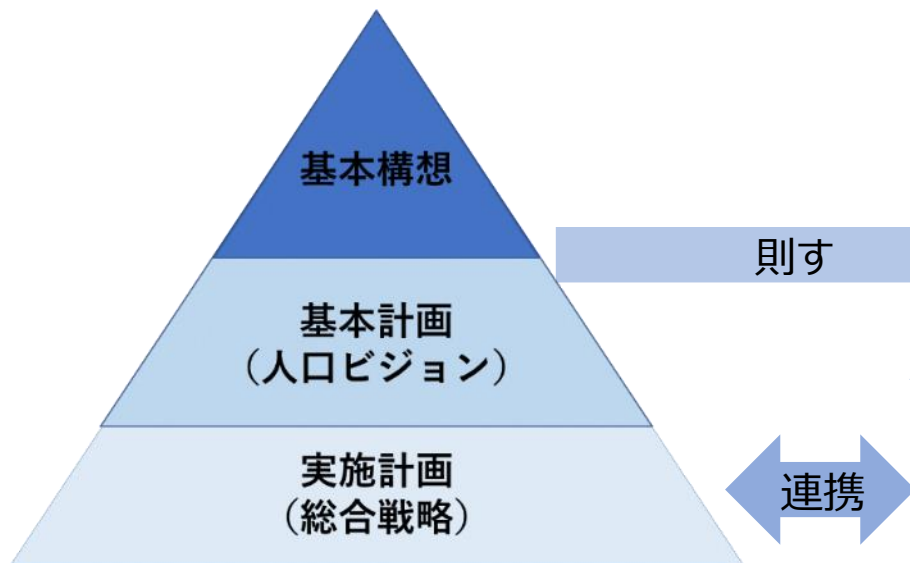
千葉市
2022/2/22版

将来構想策定の趣旨

- 幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市として発展を遂げてきた
- これまでの幕張新都心の歴史・あゆみを踏まえると、幕張新都心のまちづくりに取り組む上で「千葉市の幕張新都心」はもとより、千葉県・首都圏の拠点でもある幕張新都心を成長させていく必要がある
- 幕張新都心は、旧千葉県企業庁が主体となりまちづくりを進めてきたが、旧企業庁事業の収束に伴い、幕張新都心の未来に向けたまちづくりに市が主体的に取り組む必要がある
- 多様な関係者が活躍する幕張新都心において、まちがさらに成長していくためには、目指すべき方向性の共有が必要となる
- 幕張新都心が、新たな取組みを取り入れながら発展してきたこれまでの30年間のあゆみを踏まえ、今後も発展していくまちであり続けるため、概ね20～30年後の将来を見据えたまちづくりの方向性を示す「幕張新都心まちづくり将来構想」を策定する

将来構想について

【総合計画】



基本構想

市政運営の指針として、変化の激しい時代であっても変わらない恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標及び望ましい都市の姿を示しています

基本計画

基本構想で定める基本目標等を実現するため、まちづくりの方向性などを示す基本方針や今後の施策展開などを示すものです

実施計画

基本計画に基づく具体的な事業を示すものです

【役割】

- 幕張新都心が発展していくまちであり続けるためにまちづくりの方向性を示し、多様な関係者とみんなで共有するための指針である
- 多様な関係者とみんなで将来構想を共有し、各主体が積極的に取り組むとともに、連携・協働の好循環により取組みを推進する

【位置付け】

- 本市総合計画と連携・整合を図るとともに、将来構想の実現に向けた具体的な事業を実施計画へ位置付ける
- 市政の特定の課題等に対応するために各部門が策定している個別部門計画と連携することにより、分野横断的な将来構想を推進する

【内容】

- 概ね20～30年後の将来を見据えたまちづくりの方向性を示す
- 様々な社会変化や国・県・市の政策の動向などを踏まえ、必要に応じて見直す

幕張新都心まちづくり将来構想

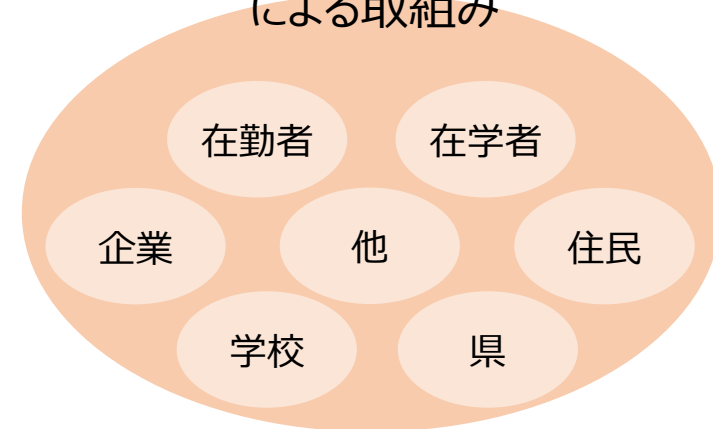
連携

【個別部門計画】

- 地域防災計画
- 環境基本計画
- スポーツ推進計画
- 文化芸術振興計画
- 都市計画マスタープラン
- 海辺のランドデザイン
- ……

共有

多様な関係者
による取組み



将来構想対象範囲

- 幕張新都心まちづくり将来構想の対象範囲は以下の図のとおりとする

土地利用計画表

(単位: ha)
(Unit: ha)

土地利用区分 Land Use Classification	用地面積 Land Area		計 Total
	中心地区 Core Area	拡大地区 Expansion Zone	
タウンセンター用地 Town Center District	24.6	8.4	33.0
業務研究用地 Business and Research District	53.6	31.0	84.6
文教用地 Academic District	57.8	—	57.8
住宅用地 Residential District	幕張ベイタウン Makuhari Bay Town	—	41.2
	若葉住宅 Wakaba Residential	—	17.5
公園緑地用地 Park and Greenery District	107.8	3.8	111.6
公益施設用地 Public utilities District	20.3	16.8	37.1
道路及其他用地 Roads and other area	114.9	24.5	139.4
計 Total	437.7	84.5	522.2



■■■■ : 幕張新都心まちづくり将来構想対象範囲

- ① 打瀬第1公園 Utase Dai-ichi Park
- ② 打瀬第2公園 Utase Dai-ni Park
- ③ 打瀬第3公園 Utase Dai-san Park
- ④ 打瀬第4公園 Utase Dai-yon Park
- ⑤ 打瀬第5公園 Utase Dai-go Park
- ⑥ 打瀬第6公園 Utase Dai-roku Park
- ⑦ 打瀬第7公園 Utase Dai-nana Park
- ⑧ 打瀬1丁目公園 Utase 1-chome Park
- ⑨ 打瀬2丁目公園 Utase 2-chome Park
- ⑩ 打瀬3丁目公園 Utase 3-chome Park

(出典)千葉市

	項目	概要	ページ
1.	幕張新都心が目指したもの	幕張新都心に関する各種計画から、これまでの幕張新都心が目指したものについて整理	
2.	幕張新都心のあゆみ	幕張新都心で積み重ねられてきた様々な取組みの歴史を整理	
3.	現状分析	これまでの取組みを踏まえた幕張新都心の現状を整理	
4.	考慮すべき将来の変化	文献調査をもとに、幕張新都心を取り巻く中長期的な外部環境変化を整理	
5.	幕張新都心への思い・声	関係者・有識者ヒアリング・懇話会・住民企業WSを通し、市民の思い、有識者の見解を整理	



上記1~5.を受けて「幕張新都心が目指すべき姿」を検討

6.	幕張新都心が目指すべき姿	1~5を受けて、幕張新都心が目指すべき姿について整理	
7.	目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性	7つの方向性ごとに「取組みの方針」を示すとともに「取組イメージ」を例示	

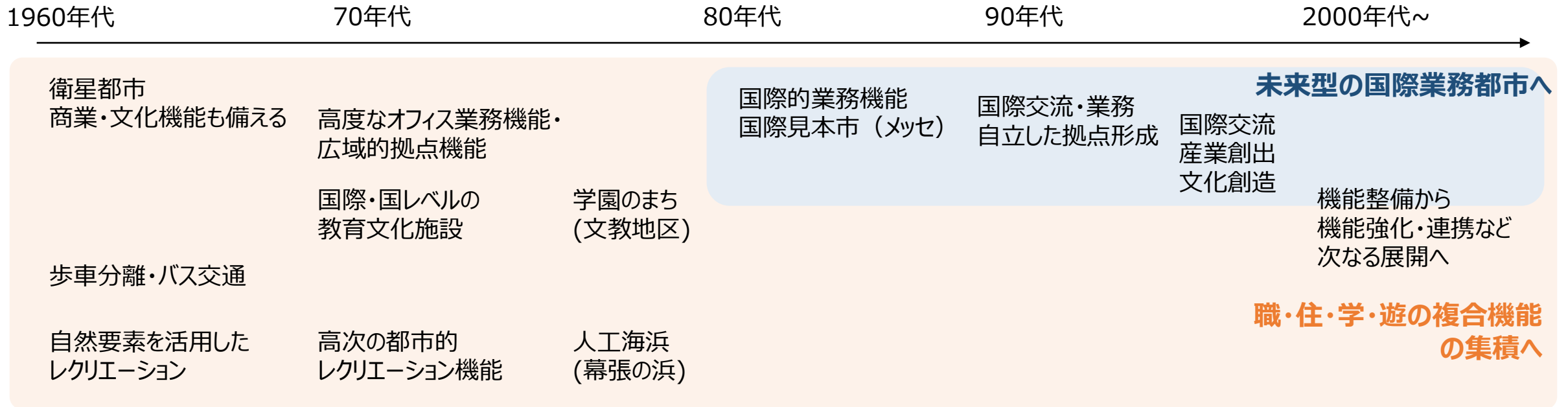
1. 幕張新都心が目指したもの

- 幕張新都心は、**明確な土地利用計画**のもと、幕張メッセをはじめ、オフィスビル、教育・研究施設やホテル・商業施設及び幕張ベイタウンや幕張ベイパークの整備の推進により、「**職・住・学・遊**」の複合機能の集積が進み、また、**未来型の国際業務都市**の形成を目指し発展してきた

幕張新都心の基本コンセプト

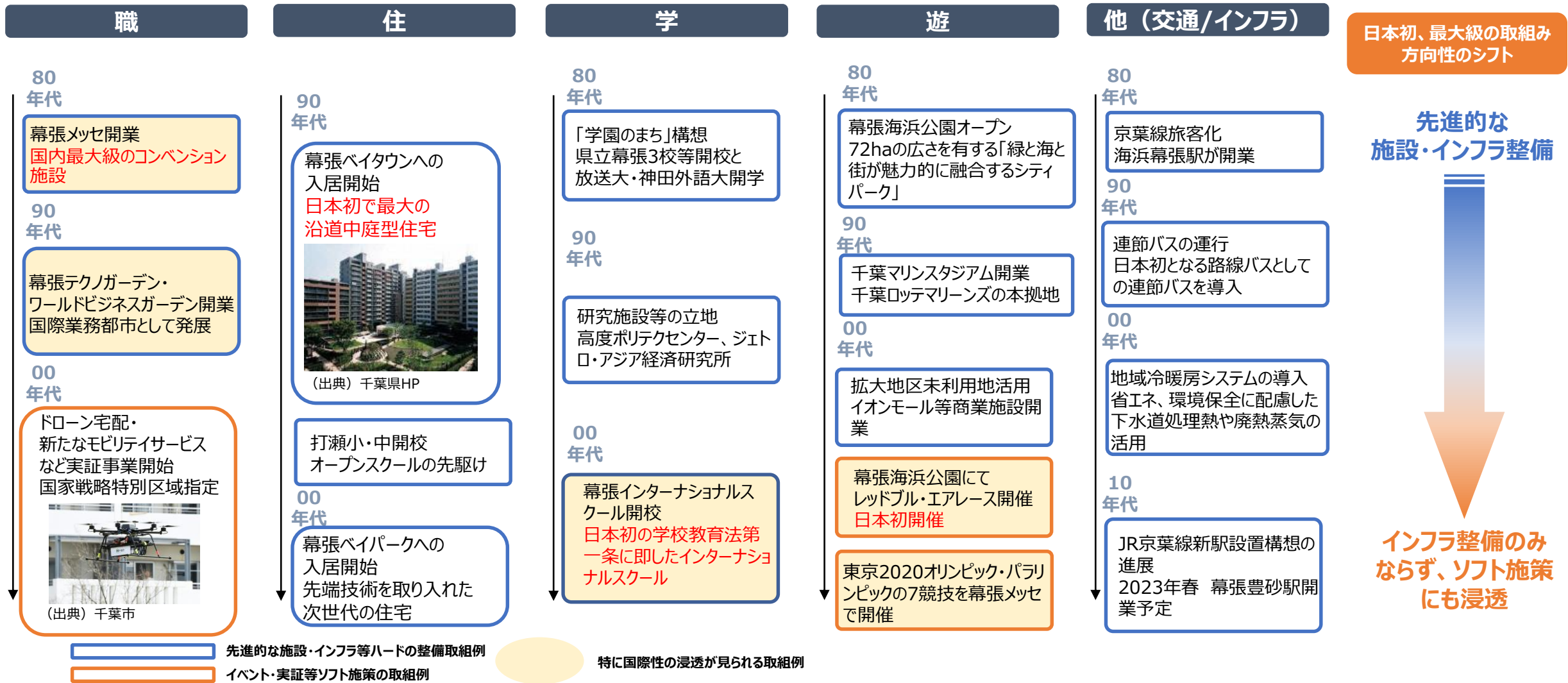
- (1) 幕張メッセを核とした国際的な業務機能の集積
- (2) 先端・成長産業の中核的業務機能及び研究開発機能の集積
- (3) 先端技術産業に対応する高度な人材を育成する学術・教育機能の集積
- (4) 新しい時代の社会的ニーズやライフスタイルに対応した快適で魅力的な居住空間の実現

これまでの各種計画におけるキーワード



2. 幕張新都心のあゆみ

- まちびらき以降、**日本初・日本最大級など先進的な施設・インフラを整備**してきた。近年では**イベント・実証**など様々な**先進的な取組み**も進められるなど、先進性はハードだけでなくソフトにも浸透しつつある
- 様々な取組みの中で、国際性の浸透**が見られることが、もう一つの特徴として挙げられる



先進的な施設・インフラ等ハードの整備取組例
 イベント・実証等ソフト施策の取組例
 特に国際性の浸透が見られる取組例

3. 現状分析(1)

- これまでの開発・整備により、幕張新都心は「職・住・学・遊」の複合機能が集積した拠点として発展し、日々の活動人口は2020年時点で230,000人まで成長した

	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
日々活動人口	75,500人	91,900人	119,500人	147,000人	225,000人	230,000人

※日々活動人口：就業者・居住者・就学者・来訪者の合計

土地利用計画表 (単位：ha) (Unit: ha)

土地利用区分 Land Use Classification	用地面積 Land Area		計 Total
	中心地区 Core Area	拡大地区 Expansion Zone	
タウンセンター用地 Town Center District	24.6	8.4	33.0
業務研究用地 Business and Research District	53.6	31.0	84.6
文教用地 Academic District	57.8	—	57.8
住宅用地 Residential District	41.2	—	41.2
公園緑地用地 Park and Greenery District	107.6	3.8	111.6
公営施設用地 Public Facilities District	20.3	16.8	37.1
遊園及びその他用地 Recreation and other area	114.9	24.5	139.4
計 Total	437.7	84.5	522.2



職	業務研究用地	国際的な業務機能、本社機能、先端産業の研究開発機能が集積
	拡大地区	業務・商業施設が立地し、中心地区を補完、さらに発展させる地区
住	住宅用地	マンション群などからなる新しい時代の快適な居住区間
学	文教用地	21世紀に対応する多様な人材育成の場
遊	タウンセンター用地	ホテルや商業施設などを中心とする賑わいや交流の場を提供
	公園緑地用地	幕張海浜公園を中心とする新都心の憩いとやすらぎの空間

- ① 打瀬第1公園 Utsuse Dai-ichi Park
- ② 打瀬第2公園 Utsuse Dai-ni Park
- ③ 打瀬第3公園 Utsuse Dai-san Park
- ④ 打瀬第4公園 Utsuse Dai-yon Park
- ⑤ 打瀬第5公園 Utsuse Dai-go Park
- ⑥ 打瀬第6公園 Utsuse Dai-roku Park
- ⑦ 打瀬第7公園 Utsuse Dai-nana Park
- ⑧ 打瀬第8公園 Utsuse Dai-hachi Park
- ⑨ 打瀬第9公園 Utsuse Dai-kyu Park
- ⑩ 打瀬第10公園 Utsuse Dai-juu Park

(出典)千葉市

3. 現状分析(2) 職

- 職**
- 国内外を代表する企業のオフィスビルが立地し、約530社、約6万人が就業している（2020年4月現在：幕張新都心活動人口調査）
 - 特に情報通信業従事者が全体の13%程度を占め、産業大分類上では卸売・小売業に次いで2番目の多さである(平成26年経済センサス基礎調査)
 - (区単位でみると)全従業者に占める美浜区居住者は24.4%であり、市内他区と比べて自区居住者の比率が低く、広域拠点性を有する(平成27年国勢調査)
 - 地域内でのスタートアップ・ベンチャーなど新産業創出の動き、産学連携に関する取組みも見られており、これらをより伸ばしていく必要がある

就業者(人/日)・事務所数の推移(1995年～2020年)

		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
職	就業者	35,000人	38,000人	41,000人	49,000人	57,000人	60,000人
	業務研究地区事務所数	—	260社	400社	500社	430社	530社

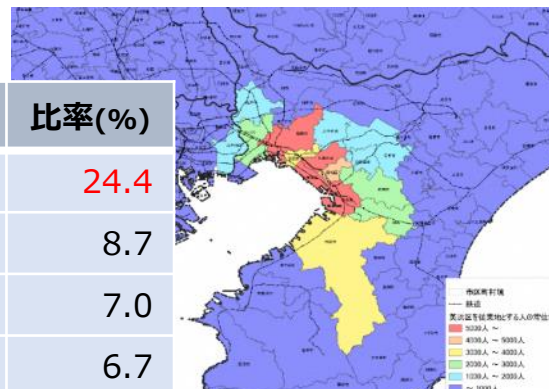
幕張新都心の全従業者に占める業種別比率
(平成26年 経済センサスベース)
産業大分類別 上位5分類

卸売業, 小売業	27.6%
情報通信業	13.4%
サービス業 (他に分類されないもの)	13.1%
宿泊業, 飲食サービス業	10.8%
教育, 学習支援業	6.7%

(出典)千葉市作成

美浜区を従業地とする人の常住地比率
(平成27年国勢調査ベース)

自治体名	比率(%)
千葉市美浜区	24.4
千葉市花見川区	8.7
船橋市	7.0
千葉市中央区	6.7
千葉市稲毛区	6.1



(出典)千葉市作成

-幕張新都心における新産業創出の動きと産学連携ポテンシャル-

幕張ビジネスポート・創業支援貸しオフィス開業



(出典)幕張ビジネスポート

千葉市高校生向け
産学官連携講座



(出典)千葉市

3. 現状分析(3) 住

住

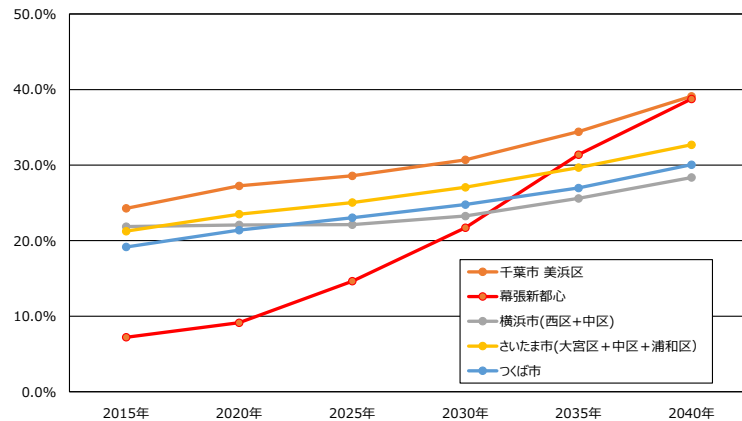
- 居住者は順調に増加し、**約27,000人**、**世帯数約10,000世帯**（2021年3月現在）。地域住民による活動も活発化してきた
- まちの成熟とともに**高齢化率の急激な増加**が見込まれ、幕張新都心での生活者の構成が変化する
- 特に、他の新興都市と比較して、より**居住者の多い“住”機能の充実**が特徴づけられる

居住者数の推移（1995年～2020年）

		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
住	居住者	1,500人	8,900人	17,500人	23,000人	25,000人	27,000人

幕張新都心での生活者構成の変化（高齢化率）

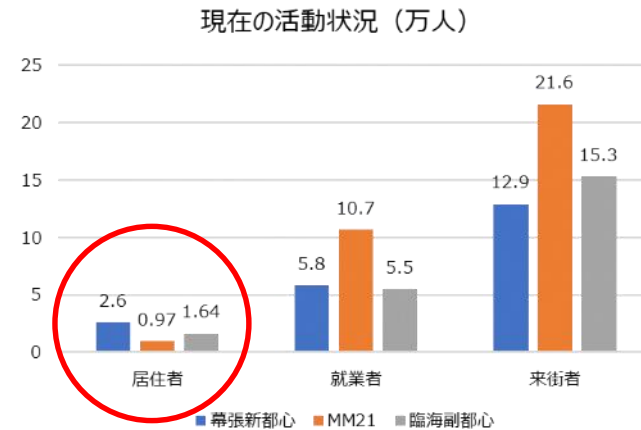
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
千葉市 美浜区	24.3%	27.2%	28.6%	30.7%	34.4%	39.1%
幕張新都心	7.2%	9.1%	14.6%	21.7%	31.4%	38.8%
横浜市(西区+中区)	21.9%	22.1%	22.1%	23.3%	25.6%	28.4%
さいたま市(大宮区+中区+浦和区)	21.2%	23.5%	25.0%	27.1%	29.7%	32.7%
つくば市	19.2%	21.4%	23.0%	24.8%	27.0%	30.1%



※幕張新都心のデータは、2020年までは住民基本台帳、2025年以降は500mメッシュデータを活用

(出典)千葉市作成

各種活動人口の変化（他都市との比較）



現在：幕張新都心は平成30年4月現在、MM21(みなとみらい)は平成30年3月末現在、臨海新都心は平成29年現在

(出典)千葉市作成

有識者からの関連するご意見

今後、幕張新都心のように自然と都市機能が両立している地域は、地方志向の若者にも注目される。人工物と自然との相互の関わりが今後肝要になる。これらの往来で、人は新たなアイデアが生まれるとも言われている

3. 現状分析(4) 学

- 学
 - 小学校3校、中学校3校、高等学校3校（うち2校が中学校を併設）、専門学校1校、大学4校、専門学校1校、インターナショナルスクール1校が開校し、約12,000人の学生が幕張新都心で学んでおり（2020年4月現在）、他の新興都市と比較しても教育機関立地数・在学者数が多い
 - 7つの研修・研究施設が立地し、多様な人材育成、国際交流の場となっている
 - 大学の公開講座など地域における学びの機会提供があり、学び直しの機会の創出や研究施設と連携したイノベーションの創発に期待できる

就学者の推移（1995年～2020年）

		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
学	就学者	9,000人	9,000人	10,000人	10,000人	11,000人	12,000人

新興4都市における2021年時点教育機関立地と在学者数

	小学校		中学校		高校		専門、短大、大学・大学院		合計	
	校数	在学者数	校数	在学者数	校数	在学者数	校数	在学者数	校数	在学者数
幕張新都心	3	1,838	3	1,957	3	3,537	5	5,813	14	13,145
さいたま新都心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨海副都心	2	778	2	439	0	0	3	10,890	7	12,107
みなとみらい21	1	413	0	0	0	0	2	4,860	3	5,273

学校教育法に基づく全国の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、短期大学、大学(サテライト等を除く)、大学院、専門学校を集計。

幕張新都心に立地する放送大学に関しては、通信制であることから在学者数概算に用いていない。

県立保健医療大学・関東鍼灸専門学校・横浜歯科医療専門学校は在学者数が公表されていないため、入学定員を修業年数で乗じた人数を在学者数とみなした。

(出典)千葉市作成

幕張新都心における研究施設



ジェトロ・アジア経済研究所



高度ポリテクセンター



障害者職業総合センター

(出典)千葉市

県立保健医療大学・公開講座

2018年・2019年と地域住民を対象とした公開講座を実施



(出典)千葉県立保健医療大学

有識者からの関連するご意見

居住人口を考慮すると、就業場所や学びの場がよりあるべきである

放送大学に、生涯学習の場として様々な世代や地域の方が参加できると良い

3. 現状分析(5) 遊

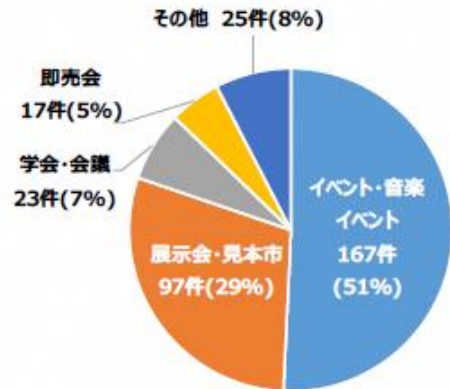
- 遊
 - 幕張の浜、幕張海浜公園など憩いの場となる環境整備、ホテルや大規模商業施設等の整備により幕張新都心の賑わいが創出され **1日あたり約131,000人**、**年間で約4,800万人**が来訪している（2020年4月現在）
 - 幕張メッセの展示ホール規模は**国内有数の展示施設**であり、催しのうち「イベント・音楽イベント」が半数近くとなっている
 - 住民アンケートによると、「**商業施設の集積**」は進んだと評価されている一方、「**公共公益施設の充実**」や「**文化・芸術に触れる機会創出**」に関する**評価が低く、文化・芸術に関する場の充実が望まれている**

【再掲】来訪者数(人/日)(人/年)の推移（1995年～2020年）

		1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
遊	来訪者	30,000人	36,000人	51,000人	65,000人	132,000人	131,000人
	年間来訪者数	1,100万人	1,300万人	1,900万人	2,400万人	4,800万人	4,800万人

住民と関係者から見た幕張新都心

幕張メッセ
分類別 開催実績(2019年)



住民アンケート結果（2020年度実施）
幕張新都心に入居したあと、充実・強化していると感じたこと
（3つ選択）

公園・緑地環境	41.2
街並み景観	33.0
商業施設の集積	31.8
サイクル・カーシェアサービスの導入・拡大	24.5
駅前など広場・空間の整備	21.9
公共公益施設の充実	4.2
文化・芸術に触れる機会創出	0.9

関係者からの関連するご意見

幕張新都心の内部に文化的な場所がない
図書館・ホール・芸術的な機能があまりない

ナイトライフの選択肢が少ない

京都などと比較してもまちとしての厚みがなく、
メッセで行われた会議のついでにできることが少ない

(出典)千葉市作成

3. 現状分析(6) その他(1)

その他	先端的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> 国家戦略特別区域に指定され、ドローン宅配、新たなモビリティサービスなどの実証事業への取組みが進んでいる 文化面でも生態系へのジャックイン展やマジカルミライ、ニコニコ超会議の開催など、現代アート、ポップカルチャー、サブカルチャーなど幅広く先端的な文化活動が行われている
	交通・回遊性 地域交流	<ul style="list-style-type: none"> JR京葉線、東関東自動車道などのインフラ整備により、幕張新都心の域外からのアクセスは向上してきた。連節バスなど地域内外を結ぶバス路線が整備されるほか、モビリティの向上に関する取組みとしてシェアサイクルが近年開始され、2018年導入後1年2ヶ月でステーション数は約6倍、利用ユーザー数は約10倍と順調に増加している エリアが広くゾーン相互の交流・回遊が希薄であるためよりゾーン間の交流・回遊を生み出すべきとの声も見られ、今後は一体感を意識しながら協働できる取組みが望ましい

様々な先端的取組

パーソナルモビリティ



(出典)千葉市

ドローン宅配



(出典)千葉市

生態系へのジャックイン展



(出典)千葉市

ニコニコ超会議2019



(出典)ニコニコ超会議2019HP

交通と回遊性域外からのアクセス向上と域内交流の課題

現行の域外からのアクセス

JR京葉線の整備により、東京駅からのアクセスは最速30分。東関東自動車道の整備により、自動車でのアクセスも良好に



(出典)千葉県

域内交流の課題

近年シェアサイクルが開始され利用ユーザーも順調に増加している
一方で、これからも協働できる取組みを進める必要がある

有識者・関係者からの関連するご意見

- これまでゾーン同士の回遊や交流が希薄だったため、まち独自の雰囲気・空気感がない
- 新駅の開業を回遊性向上にどう役立てるかの議論が必要だ
- 幕張新都心のなかの移動の手間が大きすぎるのは課題である
- 平日に徒歩で移動するにはエリアが広すぎる。回遊性を向上すべきだ

3. 現状分析(6) その他(2)

その他	多主体連携	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民だけでなく、企業・自治会など多様な主体が連携したイベントの実施など、多主体連携の機運は高まりつつある これまで官民の協力のもとに築き上げられてきた幕張新都心の街並みを維持していく必要がある 他都市では官民連携によるエリアマネジメントの事例が見られるが、今後はまちのプレーヤー全体が協働できる組織の組成、プレーヤー同士の連携の円滑化が進むことが望ましい
	公共空間	<ul style="list-style-type: none"> 幕張新都心では、これまでの開発で海辺空間・道路・広大な公園など公共空間が整備されてきたため、よりこれらを有効活用することで、幕張新都心の多様な活動主体が訪れ・新たな取組みが生まれる場を創出できる 他都市における公園や道路を活用した、賑わい向上の取組事例に加え、本市においても、「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の形成を目指した官民空間の一体的活用（ウォーカブル）を促進している

多主体連携機運の高まりと他都市におけるエリアマネジメント事例

他都市における公共空間活用事例

地元住民・企業・自治会など 多様な主体が連携したイベント実施

他都市における 官民連携エリアマネジメント事例

駅周辺公共空間の活用事例 名鉄豊田市駅周りの空間利活用

幕張新都心クリーンの日



(出典)千葉市

街なかオープンガーデン作戦



(出典)千葉市

みなとみらい21や大阪うめきたエリアなど、官民様々な関係者によるエリアマネジメント組織を組織し、連携によるまちづくりを進める事例も見られる



(出典) (一社) 横浜みなとみらい21



空間の柔軟な利活用事例 天神明治通り沿いの公開空地(福岡銀行)の利活用



(出典)居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン-事例から学ぶその要素とポイント- (国土交通省)

幕張新都心イルミネーション



(出典)幕張新都心イルミネーション実行員会

関連するご意見

役割の似ている会議体が複数あるが、街全体の会議ができる組織があると良いのではないかと

幕張新都心の企業とも協定を結んではいませんが、もっと様々な交流があつて良いのではないかと

3. 現状分析(6) その他(3)

その他	社会基盤 インフラ 安全	<ul style="list-style-type: none"> 幕張新都心の社会基盤は1980年代以降に整備されたため、間もなく更新のタイミングを迎える 現在、海浜幕張駅周辺の帰宅困難者用一時滞在施設指定など防災面の取組みが進んでいるが、幕張新都心は、高潮や地震による液状化といったリスクを抱えているため、今後も取組みを進展させる必要がある
-----	--------------------	---

参考：国土交通省所管分野における維持管理・更新費の推計結果

2018年度を基準とすると、1年あたりの維持管理・更新費は、20年後に概ね1.3倍程度になり、26年後の2044年に最大の1.4倍となる

	2018年度 ^{※1}	最大値は7.1兆円(26年後(2044年度)時点) 倍率 1.4倍				30年間 合計 (2019~2048年度)
		5年後 (2023年度)	10年後 (2028年度)	20年後 (2038年度)	30年後 (2048年度)	
12分野合計	5.2	5.5 ~ 6.0	5.8 ~ 6.4	6.0 ~ 6.6	5.9 ~ 6.5	176.5 ~ 194.6
道路	1.9	2.1 ~ 2.2	2.5 ~ 2.6	2.6 ~ 2.7	2.1 ~ 2.2	71.6 ~ 76.1
河川等 ^{※2}	0.6	0.6 ~ 0.7	0.6 ~ 0.8	0.7 ~ 0.9	0.7 ~ 0.9	18.7 ~ 25.4
下水道	0.8	1.0 ~ 1.0	1.2 ~ 1.3	1.3 ~ 1.3	1.3 ~ 1.3	37.9 ~ 38.4
港湾	0.3	0.3 ~ 0.3	0.2 ~ 0.3	0.2 ~ 0.3	0.2 ~ 0.3	6.0 ~ 8.3
その他6分野 ^{※3}	1.6	1.6 ~ 1.8	1.3 ~ 1.4	1.2 ~ 1.4	1.6 ~ 1.7	42.3 ~ 46.4

(出典) 国土交通省所管分野における維持管理・更新費の推計 (国土交通省)

幕張新都心における防災面の連携

神田外語大学 イオン株式会社
「大規模災害への備えに関する連携協力協定」
(2019年締結)

- イオンは神田外語大学からの物資支援要請に基づき、保有または調達可能な支援物資(食料、日用品等)について速やかに対応し、指定場所へ運搬を行う。
- イオンが実施する防災訓練・防災啓蒙に対し、神田外語大学の学生・教職員の参加等を通じて必要な協力を行う。

(出典)神田外国語大学 イオン株式会社

海浜幕張駅周辺の帰宅困難者用一時滞在施設

施設名	指定年月日
幕張メッセ	平成26年2月1日
千葉県総合教育センター	平成27年5月1日
千葉県立保健医療大学	平成27年5月1日
海浜幕張駅周辺施設	平成28年12月1日
市町村職員中央研修所	令和1年8月30日
東都大学	令和2年3月6日

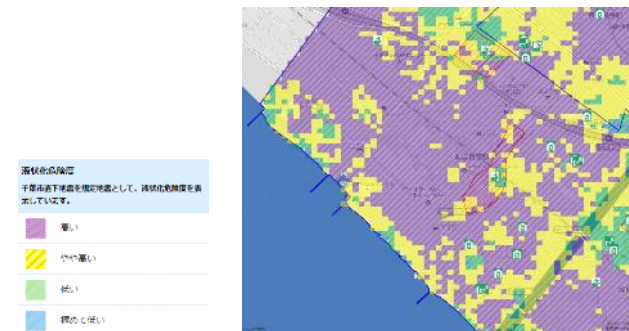
(出典)千葉市

有識者・関係者からの関連するご意見

- 全てを一気に変えるのではなく、全体像を踏まえながらバージョン管理をしていくことが重要であり、柔軟な都市づくりが必要である
- まちびらきから30年が経ち、インフラの老朽化・大規模修繕など懸念がある
- あと10年ほどで建て替えの時期を迎えるのではないか。同じようなものを建てるのではなく、知恵をだしながら今後のあり方を検討してほしい
- いかに公共の負担を減らしながら、まちづくりを進めるかが肝要だ

地震(液状化危険度)

(幕張新都心は「やや高い(黄)」「高い(紫)」が多い)



高潮(浸水深(想定最大規模))

(幕張新都心は「1m以上(黄色)」が多い)



(出典)千葉市地震風水害ハザードマップ

4. 考慮すべき将来の変化

世界における日本、日本における幕張新都心の
位置づけが変容し、
産業構造の変化や技術革新も進展
一方、幕張新都心を牽引してきた
オフィス・コンベンション機能に対するニーズも変化

経済・産業に関する変化

【国内での環境】

広域的に見たときの
幕張新都心の
位置づけも変容

【新技術/産業構造変化】

AI/IoTなど技術革新が進む。サービ
ス産業化・創造産業化が進展し、求
められる人材も変化

【国際的な環境】

中国、インドなど新興国
の成長・日本の相対的
地位低下

【オフィス需要低下】

コロナ禍によるテレワーク化で
オフィス空室率が上昇

【コンベンション機能の変容】

コロナ禍を契機としたバーチャル化の加速

活動する人やライフスタイルの多様化が進展
今後社会や環境の変化の中でさらなる多様化の
可能性が高まる

社会・環境に関する変化

【社会機運の高まり】【グローバリゼーション】

SDGsのなかでも
多様性がうたわれるなど、
社会的な機運が高まる

グローバリゼーションの
進展により、在住外国人
も増加が予想

【人口減少】 【少子高齢化】

急速な人口減少
高齢化の進展

生活・ライフスタイルに関する変化

【学びへの意識変化】【余暇時間の変化】【働き方の多様化】

人生100年時代のなかで、
リカレント教育なども浸透

ワークライフバランスの
意識が高まり、余暇時間
に対する意識も向上

コロナ禍によりテレワークが
進展し住環境に対する価
値観も変化

少子高齢化による財源の減少等もあり、
従来の行政のみの都市経営は困難になる
環境負荷に配慮し、災害など様々なリスクに対
応しつつ、持続可能な都市経営に向けた新た
な仕組みが求められる

都市のマネジメント/安全・安心 に関する変化

【行政による維持管理】

地方財政が厳しい状況
インフラ維持管理の負担も
増大し、従来の行政による

【開発から維持管理へ】

維持管理が困難になる
時代の潮流として
柔軟に空間を活用しながら
維持管理する重要性が高まる

【安全面・環境面での持続可能性】

大きな被害が発生する災害への懸念
カーボンニュートラルなど環境面での
持続可能性の対応も必要

4. 考慮すべき将来の変化

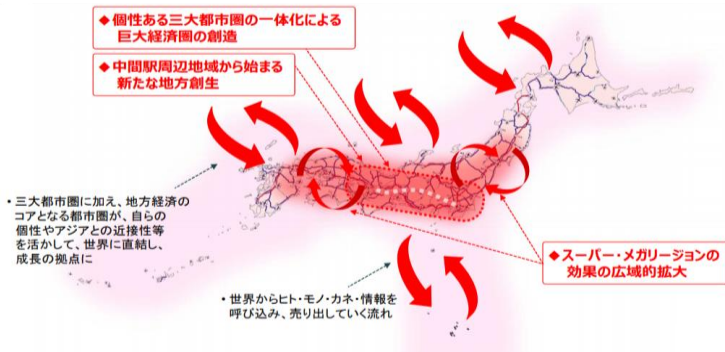
世界における日本、日本における幕張新都心の位置づけが変容し、産業構造の変化や技術革新も進展
一方、コロナ禍を経てオフィス・コンベンション機能に対するニーズも変化

経済・産業に関する変化

【国内での環境】

広域的に見たときの幕張新都心の位置づけも変容
スーパー・メガリージョンの形成による都市の競争力の変化、
羽田空港国際化進展により、
成田空港に近接する幕張新都心の強みが揺らぐ可能性

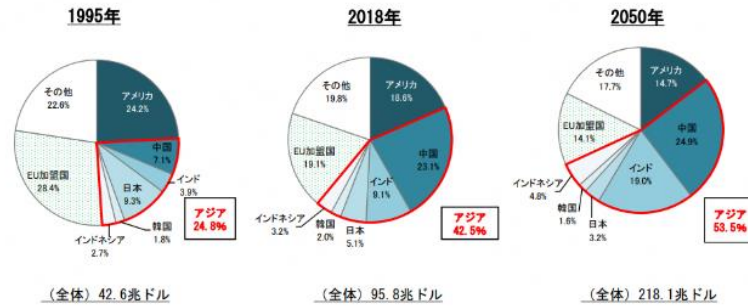
スーパー・メガリージョンの形成



【国際的な環境】

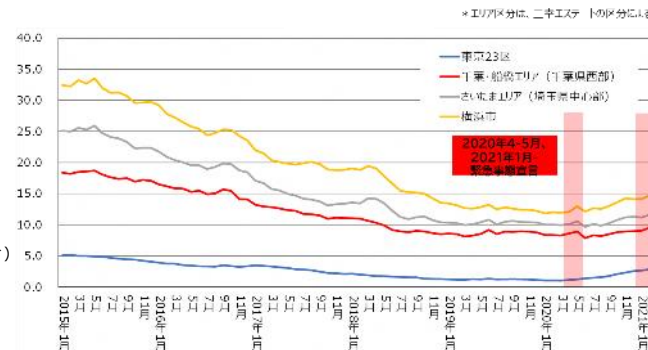
中国、インドなど新興国の成長・日本の相対的地位低下

GDPの各国割合の推移(USドル)



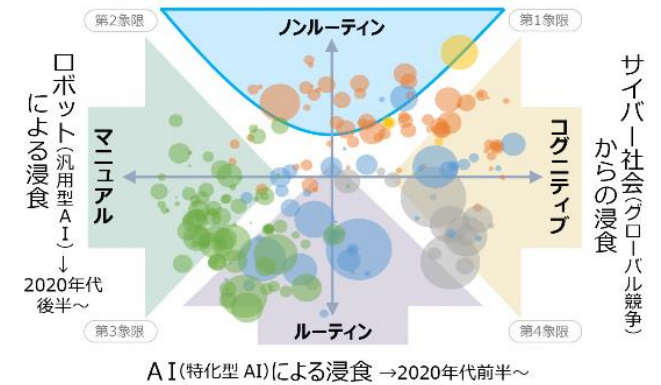
【オフィス需要低下】

今後もテレワークが浸透すると、オフィス需要の低下が懸念



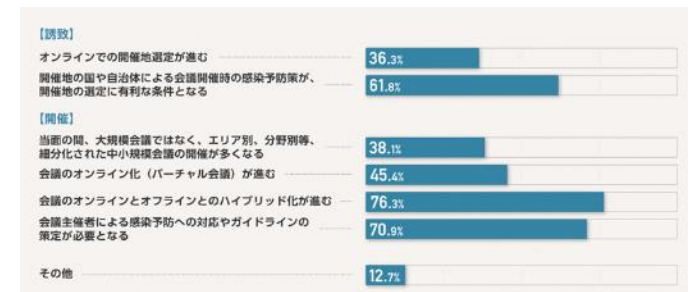
【新技術/産業構造変化】

AI/IoTなど技術革新が進む
サービス産業化・創造産業化が進展し、
新たなコト・モノを創り出す人材が、求められるように
テクノロジーによる人材への浸食



【コンベンション機能の変容】

小型化・バーチャル化・ハイブリッド化などが加速する可能性



(出典)
人口減少にうちかつスーパー・メガリージョンの形成に向けて～時間と場所からの解放による新たな価値創造～(国土交通省)
2050年の国土に係る状況変化(国土交通省)
職の大ミスマッチ時代を乗り越える人材戦略(三菱総合研究所)
相場データ(三幸エステート)より作成
コロナ禍による国際会議に対する影響アンケート(JNTO)

4. 考慮すべき将来の変化

活動する人やライフスタイルの多様化が進展
今後社会や環境の変化の中でさらなる多様化の可能性が高まる

【社会機運の高まり】

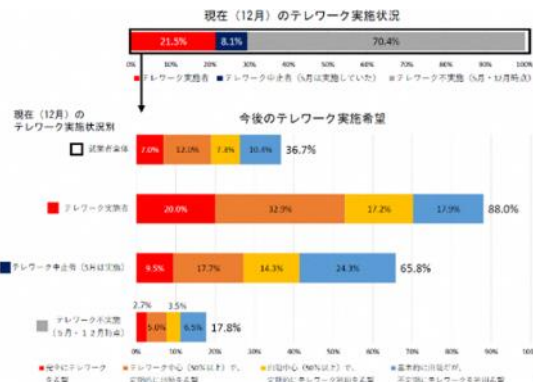
SDGsのなかでも多様性がうたわれるなど、社会的な機運が高まる

日本のSDGsの達成度（上段）と進捗（下段）



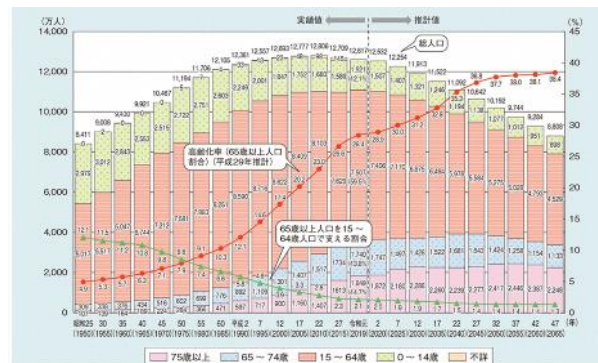
【働き方の多様化】

コロナ禍によりテレワークが進展し住環境に対する価値観も変化



【人口減少】【少子高齢化】

今後急速に人口減少・高齢化が進展



【余暇時間の変化】

ワークライフバランスの意識が高まり、余暇時間に対する意識も向上

(回答者数/回答対象者数)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
本格的な趣味 (芸術、料理等)	30.8%	25.4%	15.2%	12.4%	11.4%	11.6%	9.2%
教育・学習 (新しい分野、技術、語学等)	29.4%	23.3%	11.3%	8.3%	6.2%	4.6%	4.1%
オンラインでの発信・交流	28.8%	20.9%	14.2%	10.4%	8.9%	7.4%	5.7%
ビジネス関係の勉強 (資格取得、スキルアップ、転職情報収集等)	11.5%	17.2%	12.1%	9.5%	5.5%	2.7%	0.7%
ビジネス (起業、副業、副業品開発等)	6.3%	9.4%	7.3%	4.5%	2.5%	1.3%	0.4%
自営生活に関わること (今までやれなかったこと)	24.9%	27.4%	30.8%	29.0%	28.1%	29.1%	27.3%
特に挑戦したり、やり込んだりしたことはない	19.7%	24.9%	33.6%	39.7%	46.6%	50.8%	54.5%
わからない	10.1%	8.0%	9.7%	11.8%	9.4%	7.5%	7.8%

【グローバル化】

グローバル化の進展により、在住外国人も増加が予想

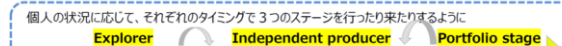
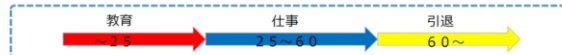


【学びへの意識変化】

人生100年時代のなかで、リカレント教育なども浸透

“LIFE SHIFT” (2016年 リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著)

人が100年も「健康に」生きる社会が到来する時、従来の3つの人生のステージ（教育を受ける/仕事をする/引退して余生を過ごす）のモデルは大きく変質する。



個人の状況に応じて、それぞれのタイミングで3つのステージを行ったり来たりするように
自分の生き方に関して考える時、知識やスキルの再取得 (職業訓練・学び直しなど) 組織に雇われず、独立した立場で生産的な活動に携わる人 (フリーランスなど) 異なる活動を同時並行で行う (例) 週3仕事、週1ボランティア、週1 NPO活動など

- <100年ライフにおいて必要性が増すもの>
- ・教育 (専門技能を高め、世界中の機会との差別化が必要)
- ・多様な働き方 (70才を超えて働くことを想定し、独立した立場での職業を考える)
- ・無形資産 (お金だけでなく、経験や人的ネットワークなど)

出典：SUSTAINABLE DEVELOPMENT REPORT 2020 The Sustainable Development Report 2020 - The Sustainable Development Goals and COVID-19
令和2年版高齢社会白書（内閣府）
2050年の国土に係る状況変化（国土交通省）
第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査（内閣府）

4. 考慮すべき将来の変化

少子高齢化による財源の減少等もあり、従来の行政のみの都市経営は困難になる
 環境負荷に配慮し、災害など様々なリスクに対応しつつ、持続可能な都市経営に向けた新たな仕組みが求められる

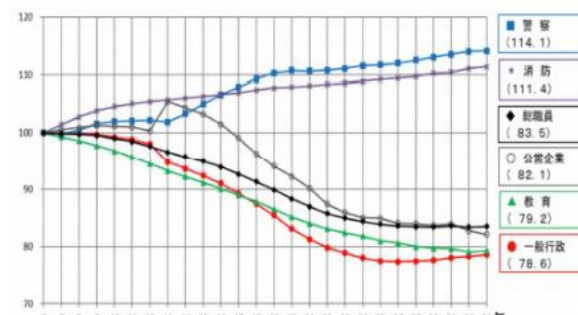
都市のマネジメント/安全・安心に関する変化

【老朽化・更新も含めたインフラ維持管理】

地方財政が厳しい状況、インフラ維持管理の負担も増大し、従来の行政による維持管理が困難になる



＜平成6年からの部門別職員数の推移 (平成6年を100とした場合の指数)＞



※平成13年に生じている一般行政部門と公営企業等会計部門の変動は、調査区分の変更によるもの。

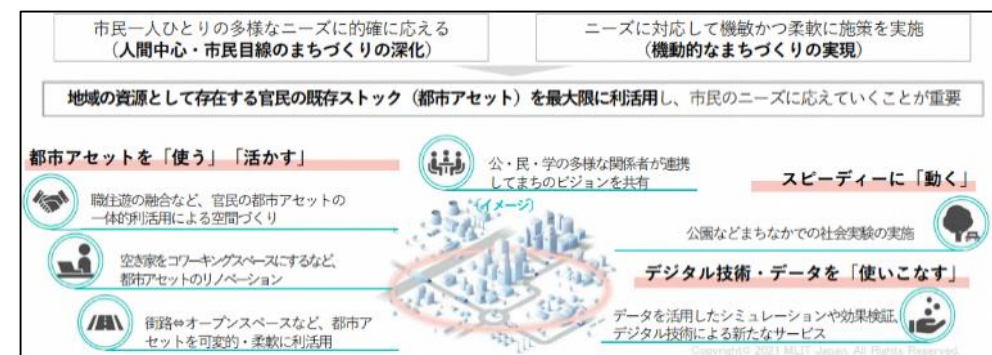
部門	指数
警察	114.1
消防	111.4
長期雇員	83.5
公営企業	82.1
教育	79.2
一般行政	78.6

小部門	指数
特別支援学校	134.1
義務教育	80.8
給食センター	27.0
防災	316.8
児童相談所等	204.7
福祉事務所	163.3
企画開発	86.3
総務一般	84.5
清掃	49.2

策局作成

【開発から柔軟な活用へ】

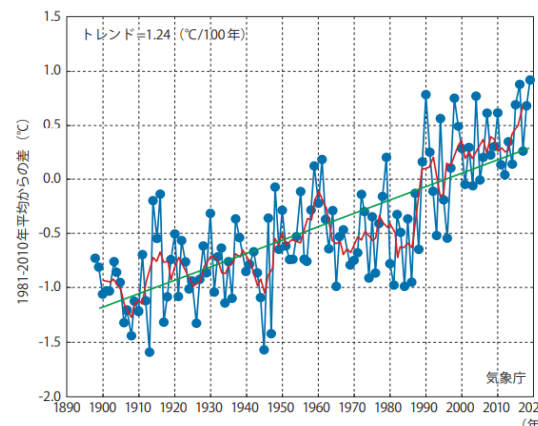
時代の潮流として今後、空間を柔軟に活用しながら維持管理する重要性が高まる



【持続可能性】

大きな被害が発生する災害への懸念
 カーボンニュートラルなど環境負荷へ配慮した都市経営は必須

観測された日本の平均地上気温の変化



出典：
 2050年の国土に係る状況変化 (国土交通省)
 デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会 (国土交通省)
 国土交通白書 2020 (国土交通省)

5. 幕張新都心への想い・声

経済・産業に関する内容

関係者・市民の想い

- 先進的な取組み・新たな取組みを進めることで、まちの価値を高め先導する地域となるべき
- 新たなビジネスの創出のために内外との接点・交流を創出すべき

先進的な取組みへの挑戦が幕張のイメージとして良い
「幕張は新しいことやってる」と感じてもらえるようにしてほしい

後追いではなく、グローバルに先導する地域になってほしい

皆がどのような仕事をしているのか知れる・相談できる関係性・異業種同士が混ざり会えるような場に期待
中小・ベンチャー企業が持つ種を拾い上げて可視化していく取組みもあれば良い

幕張メッセは空間を提供する。様々な時代のニーズ・要請にも対応可能

有識者の視点

- デジタル技術・新技術に配慮したまちづくりや、イノベーション・実証実験拠点形成を目指すべき
- 文化が経済にとっても重要であり、より表現・発信できる場を創出すべき

ソーシャル・イノベーション拠点として幕張新都心を伸ばしていくと良い

デジタルに関するシステムを行政・民間・住民と一緒に導入していくことで、仮想実験・実証実験の場になる

自由に使える余白を都市のなかに用意し、若い人が入り込む、新しい事業を行うなど、チャレンジできる場所が解放できる仕掛けがあると良い

今は受け皿ではなく、発信ができる街である必要
都市にアートや文化があり、そこに足を運びたくなるような仕掛けやアーティストや研究者、デザイナー等がまちづくりに登用されるような枠組があると良い

5. 幕張新都心への想い・声

社会・環境、生活・ライフスタイルに関する内容

関係者・市民の想い

- ・ 住む人を置き去りにせず、多様な人に寄り添い、新たなライフスタイルに合わせたまちとなるべき
- ・ 教育・学びの機会の創出は重要で、それらを起点とした国際交流も含めた人・エリア同士の交流の創出が重要

住民・企業参加型のマクハリアカデミーを開講してはどうか自由に誰もが参加でき、教師も住民で担うようなリカレント教育という切り口でより多様な方に参加してもらう方法もあるのではないか

多様性を許容できる社会であるべきだ
住む人を置き去りにしないビジョンにしてほしい
身近な声に寄り添っているまちが良い

特定の目的・施設だけではなく、「まちに来る」ことが目的になってほしい

コロナ禍のリモート環境下で、幕張新都心の魅力が高まりを見せている点を活かすべき

有識者の視点

- ・ 学びの場・生涯学習の場をより提供していくべき
- ・ 一人ひとりの住民の想いに寄り添いつつ、既存空間の有効活用によって、多様性を創発できるような仕掛けやコミュニティづくりを進めるべき

市民が消費者のみならず、（自然等の）作り手に回れる仕組みづくりを行うことで自分事化して考えられるストーリーができる

よく見ると一人ひとりの暮らしや考えもあるはずなので、個の魅力が高められるような形にしたい

歩車分離で歩道が広く整理されており、空間的な余白が多いので、様々なことができる

生涯学習の場をつくり様々な世代や地域の方が参加できると良い

ゾーンの中に飛び地をつくるなど、行政がプラットフォームになり仕掛けを構築してほしい

5. 幕張新都心への想い・声

都市のマネジメント、安全・安心に関する内容

関係者・市民の想い

- インフラの老朽化は幕張新都心にとっても課題
- 情報発信・イベントなどにより、幕張新都心のブランディングを進めていくべき
- まち全体で連携・交流の体制を築きながら、住民・行政・地元企業など一体となってまちづくりを進めていくべき

防災上の注意喚起をする学びの場が必要。気づいたら学んでいる仕掛けを家庭やコミュニティ内でできればよい

何でも規制をするとやる気を削いでしまう
柔軟に・今あるものを上手く使う工夫も重要

メディアで取り上げられるようなイベントによって
まちのイメージが上がっていくのでは

同じ想いで皆が動くには、誰が幕張新都心のまちづくりを
引っ張っていくかが重要
役割の似ている会議体が複数あるが、街全体の会議が
できる組織があると良いのではないか

有識者の視点

- 柔軟に管理・更新のできる都市づくりが必要
- 地元住民・企業など多様なプレーヤーが参加でき、まちづくりを進められる仕組みを整えるべき
- 情報発信や市民の誇りを高める活動をより進めるべき

全てを一気に変えるのではなく、全体像を踏まえながら
バージョン管理をしていくことが重要であり、柔軟な都
市づくりが必要である

幕張新都心がやっていることをどんどん発信する基盤を整えるのがよい
関わる市民の誇りが高まるような活動をつくり出すことが重要だ

市民が直接物事を決められる仕組みがあり、皆で予算の使いみち
も決められる仕組みがあると面白い
デジタルでのアクセスも一つの住民参加として捉えるべき時代だ

6. 目指すべき姿

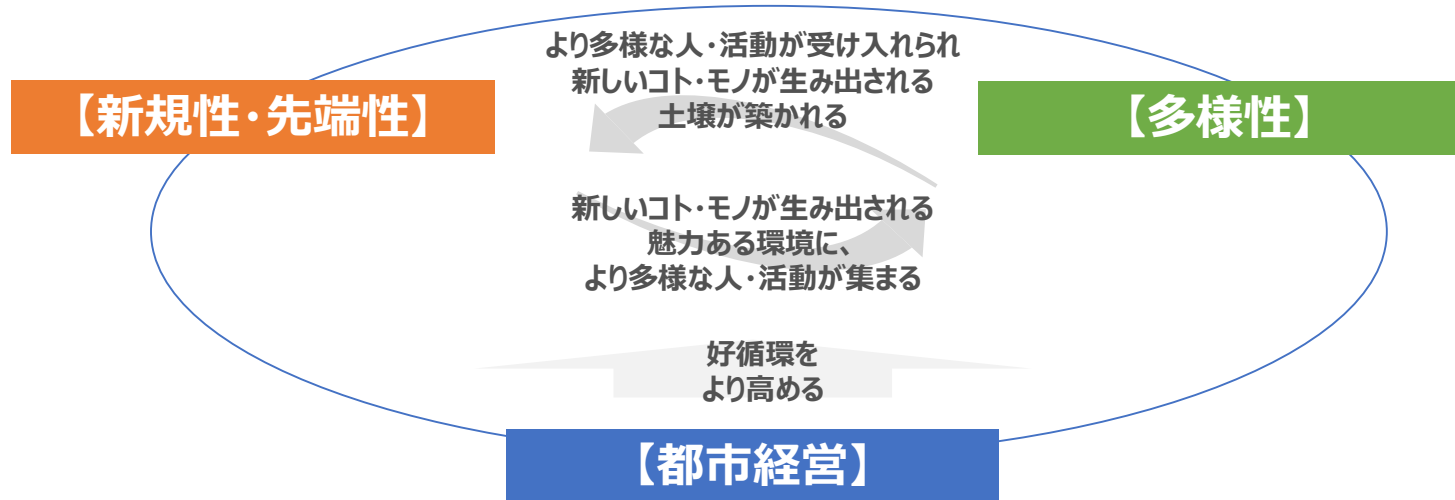
「まちづくりの理念」

幕張新都心の歴史と発展の経緯を踏まえつつ、発展していくまちであり続けるため、このまちで活動する上で大切にすべき考え方を「まちづくりの理念」として示す

◆ 未来を追い求めてチャレンジを繰り返し、ここにしかない新しさが生まれるまち

「幕張新都心のありたい姿」

まちづくりの理念の実現に向け、重要となる3つの要素を「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」と示し、3要素が好循環する姿を幕張新都心のありたい姿として目指す



「まちづくりの方向性」

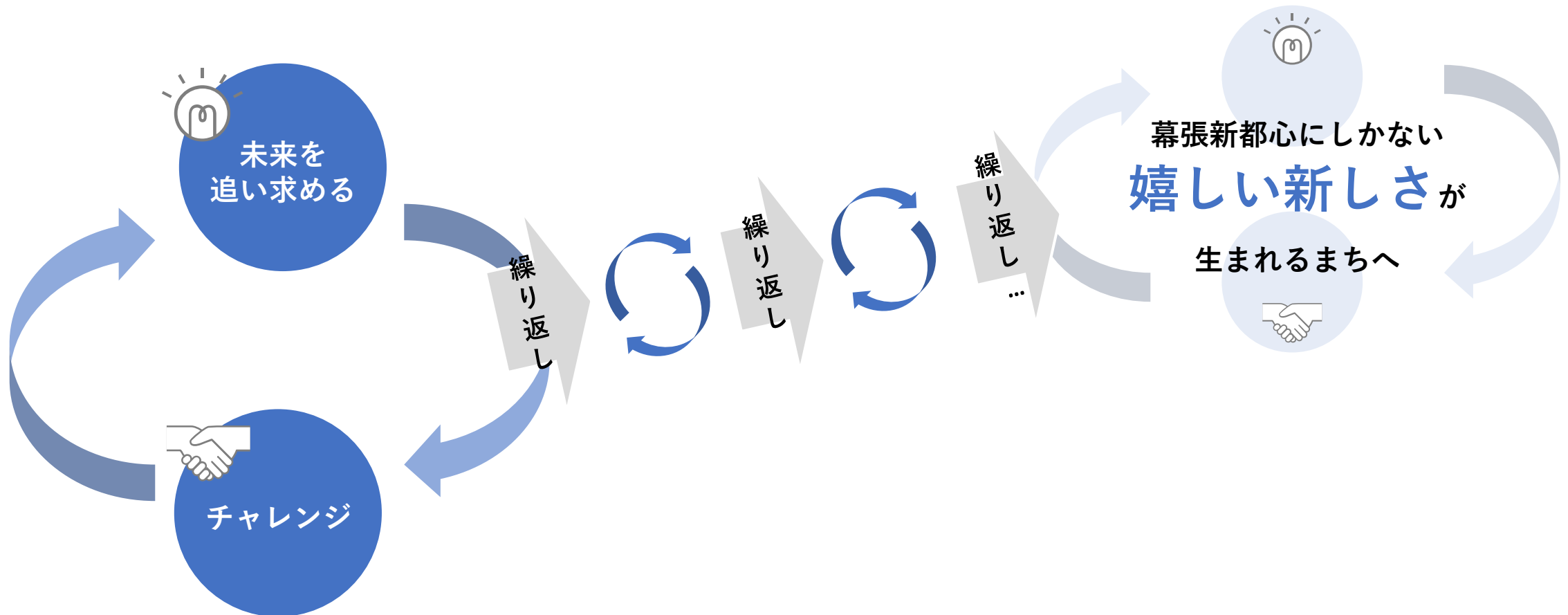
- ありたい姿へ向かうために取り組むべき7つの方向性を示す
- 方向性ごとに「取組みの方針」を示すとともに、具体的な「取組みイメージ」を例示する
- 各主体が積極的に取り組むとともに、連携・協働により具体的な取組みの検討を進める

6-1 まちづくりの理念

幕張新都心の歴史と発展の経緯を踏まえつつ、このまちで活動する上で大切にすべき考え方を「まちづくりの理念」として示す

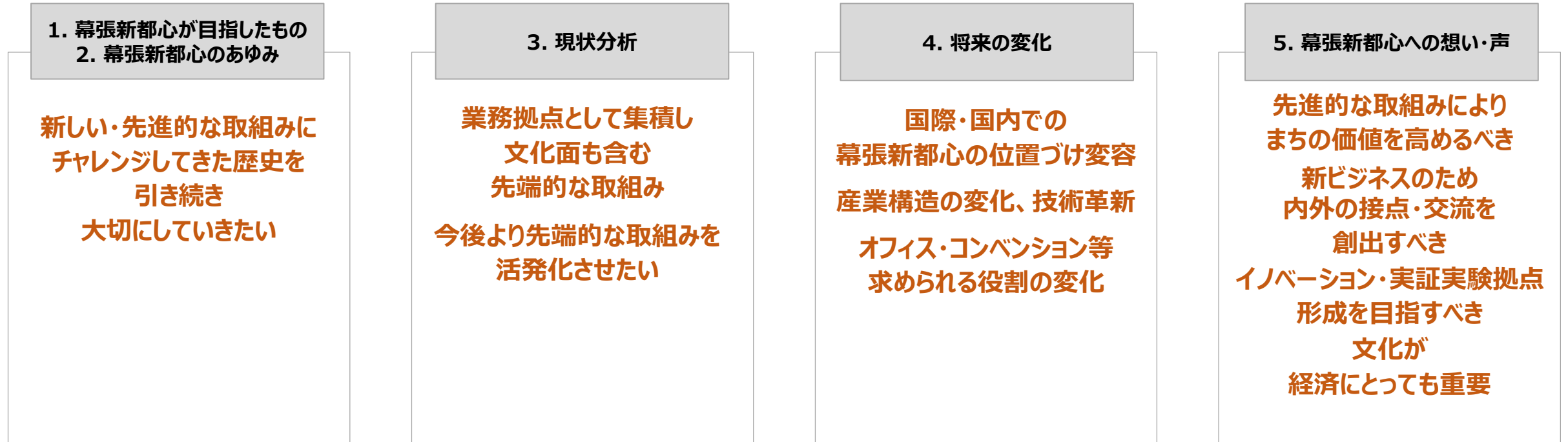
「まちづくりの理念」

◆ 未来を追い求めてチャレンジを繰り返し、ここにしかない新しさが生まれるまち



6-2 重要となる3つの要素

これまでの各種計画における将来像・位置づけや幕張新都心のあゆみ、また現状分析・考慮すべき将来の変化ならびに関係者・市民や有識者のご意見を踏まえ、まちづくりの理念の実現に向けて「**新規性・先端性**」を1つ目の要素とする



幕張新都心を取り巻く環境や産業構造の変化に対応し、引き続き首都圏や千葉県内をリードする存在であり続けるために、
新たなコト・モノを創出する土壌が重要

【新規性・先端性】

6-2 重要となる3つの要素

これまでの各種計画における将来像・位置づけや幕張新都心のあゆみ、また現状分析・考慮すべき将来の変化ならびに関係者・市民や有識者のご意見を踏まえ、まちづくりの理念の実現に向けて「多様性」を2つ目の要素とする

1. 幕張新都心が目指したもの
2. 幕張新都心のあゆみ

職住学遊の複合機能を持つ
稀有な都市で
国際性も有する

3. 現状分析

豊かな住環境で人口増
生活者構成の変化
文化的・創造的活動を受け止める場を
より充実させる必要

4. 将来の変化

ライフスタイルの
多様化が進む

5. 幕張新都心への思い・声

住む人を置き去りにしない
多様な人に寄り添える
まちになると良い
多様な人・エリア同士の
交流を創出することが重要
生涯学習の場をより提供して
いくべき
豊かな空間の有効活用や
多様性創発の
仕組みづくりが重要

既に備わるまちの多様な機能を活用しながら、幕張新都心内外の多様なヒト・モノ・コトの交流を促し、
幕張新都心の価値や多様性の向上が重要

【多様性】

6-2 重要となる3つの要素

これまでの各種計画における将来像・位置づけや幕張新都心のあゆみ、また現状分析・考慮すべき将来の変化ならびに関係者・市民や有識者のご意見を踏まえ、まちづくりの理念の実現に向けて「**都市経営**」を3つ目の要素とする

1. 幕張新都心が目指したもの
2. 幕張新都心のあゆみ

魅力的な施設・インフラが
数多く整備されてきた

3. 現状分析

既存の資源を活かし
多主体で連携する
都市経営が重要

4. 将来の変化

財源減少等のなかで
持続可能な都市経営が
求められる

5. 幕張新都心への思い・声

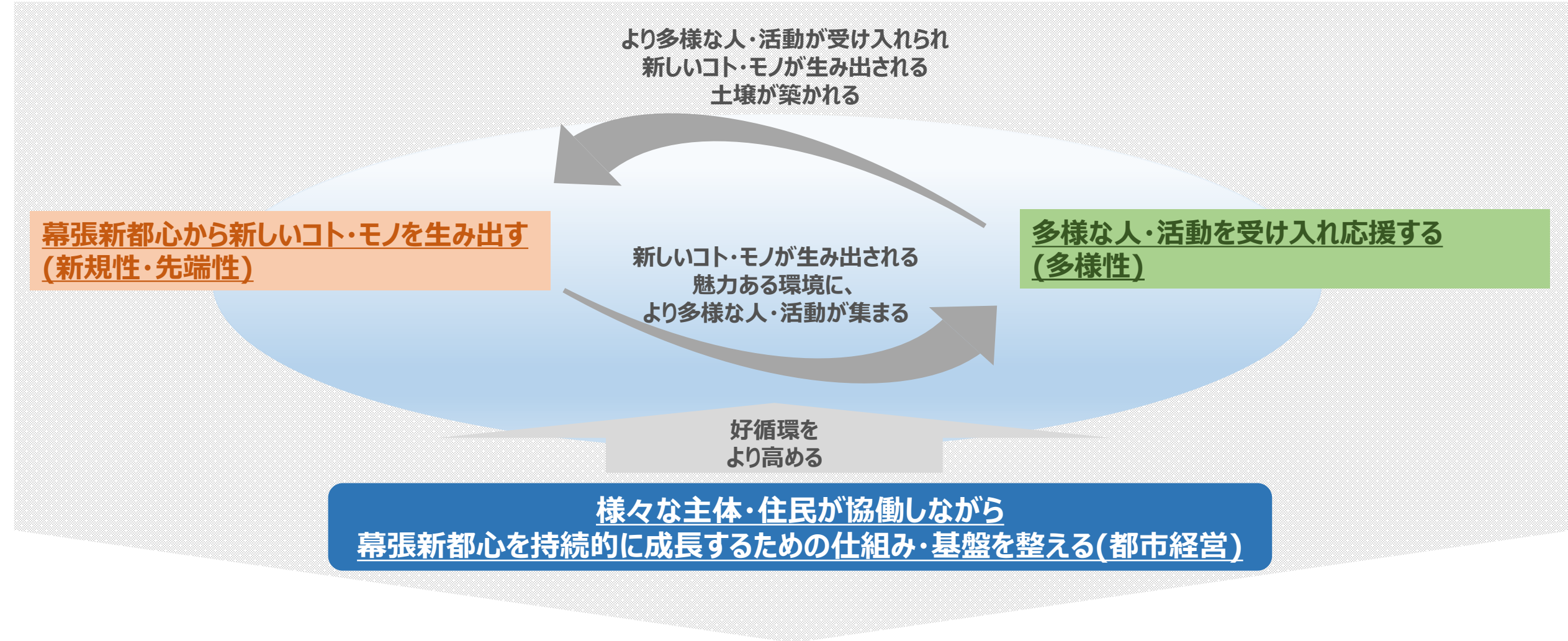
インフラ老朽化は課題
情報発信によるブランディング
シビックプライドの醸成が重要
まち全体での
連携・交流体制必要
柔軟に管理・更新できる都市
づくりが必要
多様なプレイヤーが
まちづくりに参加できる
仕組みづくりが必要

多様な主体と連携しながら、ハード・ソフトの両面における新たな都市経営の仕組み・基盤が重要

【都市経営】

6-3 幕張新都心のありたい姿

- まちづくりの理念の実現に向け、重要となる3つの要素を「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」とし、3要素が好循環する姿を幕張新都心のありたい姿として示す

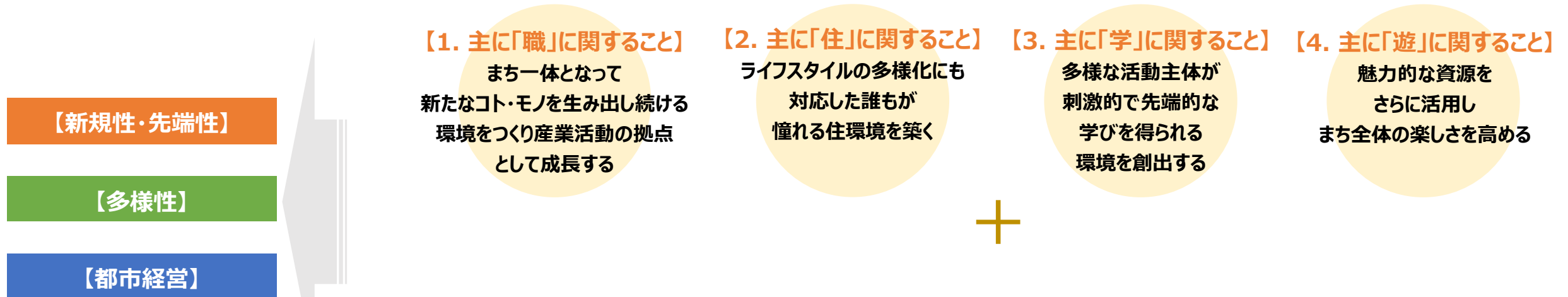


千葉県・首都圏の拠点でもある幕張新都心の好循環は、さらなるまちの活性化や発展を促し、その効果は広く波及する

7. 目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性

- 幕張新都心の持つ機能「職・住・学・遊」をさらに伸ばし、ありたい姿へ向かうために取り組むべき7つの方向性を示す
- 方向性ごとに「取組みの方針」を示すとともに、「取組イメージ」を例示することにより、多様な関係者とみんなでまちづくりの方向性を共有する
- まちづくりの方向性を踏まえて多様な関係者が連携しつつ、それぞれが積極的な取組みを実施していく

■これまで幕張新都心らしさを構成してきた「職・住・学・遊」に関する4つのまちづくりの方向性



■これからの幕張新都心らしさをより高める「連携」のための3つのまちづくりの方向性

- 【5. 柔軟な活用・回遊性に関すること】**
既存資源を柔軟に活かし
つなげることで
各エリアの融合を促進し
一体感を醸成する
- 【6. 市民参加に関すること】**
住民・企業など
多様な主体が手を取り
幕張新都心に誇りを持つための
取組づくり
- 【7. 基盤・持続可能性に関すること】**
誰もが幕張新都心で
安心して暮らせる基盤づくり

7. 目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性

まち一体となって新たなコト・モノを生み出し続ける環境をつくり、産業活動の拠点として成長する

- 世界に開かれ、国際性豊かな幕張新都心を目指すための環境をつくる
- 幕張メッセにおいて、ポストコロナ時代にも対応した、新たなMICE・コンベンションのあり方を提示する

多様な活動主体が刺激的で先端的な学びを得られる環境を創出する

- 幕張新都心の誰もが刺激的に学び合える場をつくる
- 新たなコト・モノを生み出す体験をしながら、教育機関や企業の持つ先端的な知見・技術が学べる環境をつくる

既存資源を柔軟に活かし、つなげることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する

- 時代に即した土地利用の柔軟な運用によりエリア全体の融合を促進し、賑わいを高める
- 空間の柔軟な活用・資源のシェアリングによりエリア融合・回遊性向上を促進する

ライフスタイルの多様化にも対応した誰もが憧れる住環境を築く

- 建設当初から守られてきた良好な居住環境をより高める
- 新しいライフスタイルの多様化に対応し、誰もが地域の一員としていきいきと暮らし活躍できるための機能・取組みを取り入れる

皆に助けられ、誰かの役に立っていることが実感できる！

幕張新都心には多くのチャレンジが集まりここにしかない嬉しい新しさを感じる！

幕張新都心にいると多様な立場の人と知り合えてたくさんの刺激が得られる！

海や自然が心地よくスポーツ・文化活動を日常的に楽しめる！

未来技術やデジタル技術が生活に溶け込んでいて、安全・安心・快適に過ごせる！

日常に学びの場や挑戦のきっかけが溢れていて、生きがいを感じられる！

住民・企業など多様な主体が手を取り、幕張新都心に誇りを持つための取組づくり

- 多様な世代・主体の協働による様々な活動を通し、幕張新都心の地域文化をより豊かにする
- 誰もが担い手として地域でつながり、新たな担い手を呼び起こす好循環を生み出す

魅力的な資源をさらに活用し、まち全体の楽しさを高める

- 幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、より誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間へ高める
- デジタル技術も活用した、幕張新都心でしか見られない新たな文化、エンターテインメントの創出・発展を進める

誰もが幕張新都心で安心して暮らせる基盤づくり

- 世界・地球にも貢献できるゼロカーボンシティの実現に向けて取り組む
- 地元団体の活動が連携・拡大し、一体となってまちづくりをすすめることができる仕組み・運営体制をつくる

7. 目指すべき姿へ向かうために：取組みの方針と取組イメージ

※記載している取組イメージは幕張新都心の未来に向けて検討すべき内容を記したものであり、今後関係者とともに推進すべく考えていくものです

【1. 主に「職」に関すること】

まち一体となって新たなコト・モノを生み出し続ける環境をつくり、産業活動の拠点として成長する

No	取組みの方針	取組イメージ	関連する3要素		
			新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	企業同士の協働、学生・住民との協働により、新たなコト・モノが生み出されるための環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 幕張新都心内外での企業・ベンチャー交流会の実施 企業同士のネットワーク構築・結び合わせ、これらの支援 企業、学生、住民が学びを得ながら共創できる機会の創出 企業、学生、住民の連携による新たな産業の集積やソーシャル・イノベーション拠点の展開 	●		
2	幕張新都心が持つ資源であるスポーツ・文化・エンタメなどにおいて、先進的な取組みや分野横断型ビジネスへチャレンジできる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 幕張新都心の都市基盤を活用した先進的なイベント、取組みの実施・環境づくり スポーツ×技術、文化・エンタメ×技術など、分野を跨いだ企業・組織間の交流・連携 国家戦略特区制度における規制改革を活用した新たなビジネスの創出 	●	●	
3	世界に開かれ、国際性豊かな幕張新都心を目指すための環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 外資系企業の企業立地に対する優遇措置 高度外国人材の居住環境・教育環境の向上・アピール 国際コンベンションの開催を通じた産業振興や産業人材育成 	●	●	
4	幕張メッセにおいて、ポストコロナ時代にも対応した、新たなMICE・コンベンションのあり方を提示する	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心でさらなる活性化・発展を遂げたMICEの展開 ハイブリッド・バーチャルに対応した新時代のコンベンションで国内・国際での存在感をより高める 	●		
5	リモートワーク時代のなかで、幕張新都心の豊かな自然環境を感じながら、柔軟に働ける環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> リモート時代にも対応した、スタートアップ・ベンチャーにも利用しやすい、オフィス空間・ワークスペースの整備 海・緑の感じられる“幕張新都心版ワーケーション”の展開 	●	●	

7. 目指すべき姿へ向かうために：取組みの方針と取組イメージ

※記載している取組イメージは幕張新都心の未来に向けて検討すべき内容を記したものであり、今後関係者とともに推進すべく考えていくものです

【2. 主に「住」に関すること】

ライフスタイルの多様化に対応した、誰もが憧れる住環境を築く

No	取組みの方針	取組イメージ	関連する3要素		
			新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	建設当初から守られてきた良好な居住環境をより高める	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地の機能向上や更新、景観の維持といった取組み 		●	
2	全ての子育て家庭が安心して楽しく子育てができる環境を築く	<ul style="list-style-type: none"> 保育環境や教育環境の充実、放課後のこどもの居場所の充実 外国人居住者等に配慮した子育て支援や学びの環境の充実 シニア世代や地域団体等の地域の多様なプレイヤーの連携による地域一体となった子育て支援ネットワークの拡充 子どもの安全・安心を支えるスマート技術の導入 		●	
3	ライフスタイルの多様化に対応し、誰もが地域の一員としていきいきと暮らし活躍できるための機能・取組みを取り入れる	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインを踏まえた面的・一体的なバリアフリー化の促進 リモートワーク時代に対応した住居周辺でのコワーキングスペースの整備やキッチンカー等の生活環境の充実 高齢化・国際化にも対応し、多言語対応を含め多様な生活ニーズを踏まえた地域での見守り・手助け、生活支援サービスの展開、介護ロボットなど生活をサポートするスマート技術の導入 	●	●	
4	幕張新都心全体のまちづくりへの参画や、実証実験への参加・貢献等、住民の活動の幅を広げる	<ul style="list-style-type: none"> 幕張メッセ等のイベントでのボランティアなど、住民がまちの運営に参画する機会を増やす 幕張新都心エリアで実施される実証実験等に住民が参画する場づくり 	●		

7. 目指すべき姿へ向かうために：取組みの方針と取組イメージ

※記載している取組イメージは幕張新都心の未来に向けて検討すべき内容を記したものであり、今後関係者とともに推進すべく考えていくものです

【3. 主に「学」に関すること】

多様な活動主体が刺激的で先端的な学びを得られる環境を創出する

No	取組みの方針	取組イメージ	関連する3要素		
			新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	幕張新都心の誰もが刺激的に学び合える場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 立地する教育機関等(小・中・高・大学等)による、地域に開かれた多様な学びの場・リカレント教育(※)の場の展開 幕張新都心に関わる人々の知見や技能を活かした学び合いの場の展開 学生、ワーカー、シニア、外国人等、幕張新都心に住む・活動する人々の知見・技能の結び合わせ 		●	
2	新たなコト・モノを生み出す体験をしながら、教育機関や企業の持つ先端的な知見・技術が学べる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 大学と連携したソーシャル・イノベーション拠点の展開 リビングラボ(※)など地域の住民・学生が主体的に参加できる共創環境の提供 	●	●	

7. 目指すべき姿へ向かうために：取組みの方針と取組イメージ

※記載している取組イメージは幕張新都心の未来に向けて検討すべき内容を記したものであり、今後関係者とともに推進すべく考えていくものです

【4. 主に「遊」に関すること】

魅力的な資源をさらに活用し、まち全体の楽しさを高める

No	取組みの方針	取組イメージ	関連する3要素		
			新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	各施設・催しと連携しながら、まちの賑わいをより面的に広げ高める	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設の地域連携の強化、幕張海浜公園等の近隣の空間と合わせた連携イベントにより賑わいを面的に広げる 幕張メッセ等でのイベントに合わせたナイトタイムエコノミーの充実、インバウンド受け入れ体制の充実等、関係者間の連携による来訪者の滞留を促進 訪日外国人との交流等を通じた多文化理解の促進 幕張海浜公園での民間活力を導入した公園の賑わいづくり 		●	●
2	デジタル技術も活用した、幕張新都心でしか見られない新たな文化、エンターテインメントの創出・発展を進める	<ul style="list-style-type: none"> 幕張メッセ・ZOZOマリンスタジアム・幕張海浜公園でのバーチャルと融合したエンターテインメントに関する取組みの推進 	●		
3	魅力的なスポーツ資源を、より地域に対して開かれたものとし、魅力を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> ZOZOマリンスタジアムや幕張海浜公園などを有効活用した、地域に開かれたスポーツイベント、スポーツ科学の市民協働実証実験等の試み 		●	
4	幕張新都心が誇る緑・公園・海といった資源を有効活用し、より誰もが身近に感じる使いやすい豊かで安全な空間へ高める	<ul style="list-style-type: none"> 日常性と非日常性を併せ持つ都市空間の活用、海辺エリアのシンボリックな空間の形成 市街地と海辺エリアの一体性と回遊性を創出するための連続的なアプローチ空間の形成 災害発生時の利用者の適切な誘導や避難経路の確保など、安全性の向上 緑・公園・海におけるイベント・柔軟な利用の促進 		●	●

7. 目指すべき姿へ向かうために：取組みの方針と取組イメージ

※記載している取組イメージは幕張新都心の未来に向けて検討すべき内容を記したものであり、今後関係者とともに推進すべく考えていくものです

【5. 柔軟な活用・回遊性に関すること】

既存資源を柔軟に活かし、つなげることで、各エリアの融合を促進し一体感を醸成する

No	取組みの方針	取組イメージ	関連する3要素		
			新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	時代に即した土地利用の柔軟な運用によりエリア全体の融合を促進し、賑わいを高める	<ul style="list-style-type: none"> 各エリア機能がにじみだし、重なりが生まれ、様々な機能が融合することを意図した公共空間の活用や低未利用地の利活用 幕張豊砂駅開業による効果の発現に向けて、集客施設等の集積により魅力的でさらなる賑わいを可能とする土地利用の見直し Z O Z O マリンスタジアムのあり方、周辺エリアとの調和も踏まえた豊砂地区全体の賑わいの創出 			●
2	空間の柔軟な活用・資源のシェアリングによりエリア融合・回遊性向上を促進する	<ul style="list-style-type: none"> 道路や公園などの公有地、スカイウェイやメッセモールなどのエリア同士をつなぐ施設、民有地のオープンスペースといった、あらゆる官民空間の一体的かつ柔軟な活用・仕掛けづくり 各プレイヤーが持つ資源・物品のシェアリング 空間・資源のシェアリングを円滑にするデジタルプラットフォームの活用 	●	●	●
3	エリア全体での一体感を向上させるためモビリティを充実する	<ul style="list-style-type: none"> 域内モビリティを活性化させるパーソナルモビリティ（※）や、移動ニーズに応じたマイクロモビリティ（※）の導入や活用 次世代モビリティステーション設置による回遊性向上、新たな交通技術の導入、シェアサイクルを始め、誰もが使いやすいモビリティの積極的な導入・拡充 幕張豊砂駅開業を契機に域内外をつなぐモビリティサービスの充実やそれらを一体的に提供するMaaSの実現 幕張新都心での人流・滞留データの取得・活用と、データを活用した回遊性向上・仕掛け創出のための戦略づくり 	●	●	●

7. 目指すべき姿へ向かうために：取組みの方針と取組イメージ

※記載している取組イメージは幕張新都心の未来に向けて検討すべき内容を記したものであり、今後関係者とともに推進すべく考えていくものです

【6. 市民参加に関すること】

住民・企業など多様な主体が手を取り、幕張新都心に誇りを持つための取組づくり

No	取組みの方針	取組イメージ	関連する3要素		
			新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	多様な世代・主体の協働による様々な活動を通し、幕張新都心の地域文化をより豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> これまで築き上げてきた幕張新都心の街並みの維持・向上とともに、それらも活用したブランディングやシビックプライドの醸成 世代・組織の壁を越えて一体となったイベントの開催 音楽・アートなどの地域の文化活動を、公共空間・各種施設など活用することで、地域で面的に展開 		●	●
2	誰もが担い手として地域でつながり、新たな担い手を呼び起こす好循環を生み出す	<ul style="list-style-type: none"> 市民が持つ専門知識のリレートーク、シーズンごとの植樹リレー等による担い手リレープログラム オンラインプラットフォーム、地域メディア、デジタルサイネージ等を活用した地域でのイベントや、市民の取組みの可視化 	●	●	●
3	デジタル技術のサポートも活用しながら、地域で議論し地域で意思決定できるまちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> オンラインプラットフォームを活用し、地域で議論・意思決定・実践する仕組みの構築 意思決定の材料としてのデータ連携基盤（都市OS）・IoT技術等を導入した情報提供、都市活動の可視化 	●	●	●

7. 目指すべき姿へ向かうために：取組みの方針と取組イメージ

※記載している取組イメージは幕張新都心の未来に向けて検討すべき内容を記したものであり、今後関係者とともに推進すべく考えていくものです

【7. 基盤・持続可能性に関すること】

誰もが幕張新都心で安心して暮らせる基盤づくり

No	取組みの方針	取組イメージ	関連する3要素		
			新規性 先端性	多様性	都市 経営
1	世界・地球にも貢献できるゼロカーボンシティ実現に向けて取り組む	<ul style="list-style-type: none"> 2050年の脱炭素社会に先駆けて、幕張新都心におけるサステナビリティの創出など、新たな環境価値を創出 環境負荷を低減する新たな建築・建替 冷暖房システムなど幕張新都心に導入されてきた先端システムの、より環境負荷の低い形への更新 	●		●
2	地元団体の活動が連携・拡大し、一体となってまちづくりを進めることができる仕組み・運営体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> まちの価値を維持・向上させるためのエリアマネジメント団体の組成と積極的な活動による幕張新都心の新たな地域価値の創出 災害等に備えた、地域のプレーヤー間の連携体制の構築 		●	●
3	より市民の暮らしを豊かに送るための、都市へのデジタル基盤の導入・デジタル技術・新技術を見据えた都市の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> 無人運転やロボットの動きやすい動線、都市データが取得できるIoTセンサーの導入など、新技術にフレンドリーな都市基盤づくり 幕張新都心の各企業・各団体が持つデータを連携するためのデータ連携基盤（都市OS）の構築 	●		●
4	県内や首都圏湾岸地域における取組みや連携に向けた基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> 新たな湾岸道路によるアクセス性向上、各拠点との連携体制の構築、都市機能の役割分担 各拠点との積極的な連携による千葉県・首都圏の拠点でもある幕張新都心の新たな価値の創出 			●
5	デジタル技術も活用した高度なインフラの維持・管理、安全性の向上に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> IoTカメラ、ドローンなど新技術を活用した安全・安心データの取得と一元管理 未来技術やデジタル技術を活用し、安全、安心、快適な幕張新都心の実現 	●		●

7. 目指すべき姿へ向かうために：取組イメージの整理

※記載内容は幕張新都心の未来に向けて検討すべき内容を記したものであり、今後関係者とともに推進すべく考えていくものです

【エリア全体に関わる取組み】

- エリアマネジメント団体の組成と活動による新たな地域価値の創出
- 街並みの維持・向上とともにそれらも活用したブランディングやシビックプライドの醸成
- 各エリア機能がにじみだし、融合することを意図した公共空間の活用や低未利用地の利活用

【業務研究・タウンセンター】

- 企業同士のネットワーク構築、結び合わせ
- 安全・安心でさらなる活性化・発展を遂げたMICEの展開
- リモート時代にも対応した、オフィス空間・ワークスペースの整備
- 国際コンベンションの開催を通じた産業振興や産業人材育成
- 道路や公園、スカイウェイ、メッセモールをはじめとする公共空間の柔軟な活用・仕掛けづくり

【拡大地区】

- 幕張豊砂駅開業による効果の発現に向けて、集客施設等の集積により魅力的でさらなる賑わいを可能とする土地利用の見直し

【広域連携】

- 新たな湾岸道路による幕張新都心の新たな価値の創出

【文教地区】

- 大学と連携したソーシャル・イノベーション拠点の展開
- 地域に開かれた多様な学びの場・リカレント教育の場の展開

【幕張海浜公園】

- 幕張海浜公園での民間活力を導入した公園の賑わいづくり
- ZOOマリンスタジアムのあり方、周辺エリアとの調和も踏まえた賑わいの創出

【幕張ベイパーク】

- リモートワーク時代に対応した住居周辺での生活環境の充実

【幕張ベイトウン】

- 住宅地の機能向上や更新、景観の維持といった取組み

【幕張の浜】

- 日常性と非日常性を併せ持つ都市空間の活用
- 海辺エリアのシンボリックな空間の形成
- 市街地と海辺エリアの一体性と回遊性を創出するための連続的なアプローチ空間の形成